

(小口)
15mm

(天)
15mm (ノド)
15mm

注意事項

●感染症対策

- ・会場内には選手1名につき付添2名までとします。
(出来るだけ付添人数1名のご協力をお願いします。上記人数以上の特例は認めません。)
- ・会場に入場の際は、選手と付添お揃いの上ご一緒に入場ください。
- ・会場内は常時マスク着用をお願い致します。
- ・各所に除菌スプレーを設置しておりますので、こまめに消毒をお願い致します。
(選手が足を滑らせて怪我をするケースがあった為、コートを除菌は行いません。
試合終了後に各自手足の消毒の徹底をお願い致します。)
- ・観客席は間隔を空けてご利用ください。
- ・感染予防の為、会場内は食事禁止とさせていただきます。(ゼリータイプ、飲料、水分補給は可です)

●選手注意事項

- ・試合順の呼び出し時に選手がコートに上がらない場合は失格となります。試合順を確認いただき余裕を持って5試合前には選手待機席にお座りください。
(5試合前までの方以外は競技フロアに入れません。)
- ・会場の共用スペース(ロビーなど)でのウォーミングアップは禁止といたします。ウォーミングアップはサブアリーナをご利用ください。
- ・男子は道着の中のTシャツの着用は禁止です。金的サポーターは必ず道着の中に着用ください。
- ・メインアリーナに隣接の更衣室をご利用ください。ただし、サブアリーナ横の更衣室は大会関係者は利用不可となります。

●応援やセコンドの皆様への注意事項

- ・会場内は土足禁止ですので靴袋をご使用ください。(主催者でも用意は致します。)
- ・競技フロア(試合場エリア)には選手1名につき付添1名まで入場できます。
- ・セコンドは選手付添1名+道場責任者または指導員1名の計2名までとさせていただきます。
- ・道場責任者、指導員(待機審判含む)の皆様もセコンド席以外からの声援はお控えください。
- ・撮影は自由ですが、フラッシュなど選手の妨げにならないようにしてください。また関係者以外三脚の使用は禁止とします。
- ・相手選手への誹謗中傷や、判定への不服などは慎んでいただき、節度ある応援をお願いいたします。(大会役員や審判スタッフの指示に従わない方には退場をして頂く場合がございます。)

●その他 注意事項(駐車場)

会場内の駐車場につきましては、大会審判スタッフ、駐車許可証をお持ちの方のみとさせていただきます。許可証なしで駐車された方はすみやかにご移動ください。

本大会注意事項に従い、正々堂々と試合に参加して頂きますようお願い致します。

P12

(地)
18mm

試合規則

[試合規則]

[競技ルール] 日本空手連盟フルコンタクトカラテルール(MUGENもこれに準ずる)
顔面(首含む)への手技なし、顔面への蹴りはあり(幼・小・中学生は安全のため上段ヒザ蹴りなし)

[勝敗・判定]

- ・一本・技あり > ダメージ > 的確な有効打 > 手数足数 > 積極性 が勝っているものを勝者とする。
- ・主審1名、副審4名による5名にて判定、持ち点1点とし、3/5点以上を取った者を勝者とする。
- ※主審は判定において判断を大会実行委員長に仰ぎ、最終権限は「日本空手連盟 誠真会館 館長」が有する。

[一本勝ち]

- ・反則箇所を除く部分へ突き・蹴り・肘打ちの等有効技を瞬間的に決め、相手選手が3秒以上ダウンした場合、または3秒以上戦意を喪失させた場合は一本勝ちとする。
- ・技ありを2回とった場合は合わせ一本勝ちとする。

[技あり]

- ・反則箇所を除く部分へ突き・蹴り・肘打ちの等有効技を瞬間的に決め、一本には至らないが、有効な攻撃によって相手の体勢が大きく崩れダメージがある場合、又は一時的(3秒以内)に戦意を喪失させた場合は技ありとする。
- ※幼年～小学生の試合において「顔・頭部への蹴り技」がノーガードで的確ヒットした場合、ダメージに至らなくても「顔が大きく傾く」または「打撃音」により有効的な攻撃とみなした場合は技ありとする。ただし、押し付けただけ、触れただけ、かすっただけ、撫でるような蹴りは技ありとしない。

[延長戦・体重判定]

- ・3本以上の旗が上がらない場合は、引き分けとし延長戦を行なう。延長戦はマスト判定とする。
- ・今大会については進行の都合上、体重判定は行わない。
- ・MUGENのみ延長戦・再延長戦で決着がつかない場合、体重判定(5kg差)を行い、再々延長戦はマスト判定とする。

[反則]

- 次の場合を反則行為とし、その程度に応じて「注意」「減点」「失格」を主審が宣言する。
- ・手技による上段(首を含む)への攻撃や、金的、後頭部・背骨へのすべての攻撃、頭突きは禁止とする。
- ・押し、掛け、つかみ、投げ、技の掛け逃げは禁止とする。
- ・反則には「注意」が与えられ、特に悪質な反則には即刻「減点」「失格」もありうる。
- ・試合中に無意味な発声や、相手の人格を無視するような言動行動は反則とする。
- ・審判団の指示に従わない、判定に対して抗議、不服、を申し出た場合は失格とする。

[技ありと反則減点の関係性]

判定に影響しない	判定に影響する	技あり(得点2)と同等	一本
反則1回 → 注意	反則2回 → 減点1	反則3回 → 減点2	反則4回 → 失格

※減点1だと技あり以上をとらねば負け、減点2だと技ありをとって同等となる。尚、注意は判定に影響しない。

[特別体重規約]

※体重別階級の規定体重オーバーした場合、～1Kg未満までは「注意」3Kg未満までは「減点1」の状態から毎試合開始とする(延長含む)3Kg以上は「失格」ただし、特別体重規約に準じて中学生は1Kg未満までは「注意」は免除。

※中学生及び高校生が成長期にあることを考慮し、申込時の申告体重と当日の体重の相違を「1キログラム未満まで」認める。(例:体重45kgとして申込みをした場合、大会当日に45.9kgまでなら体重増加を認める。)

[怪我の保護]

・テーピングや動きを補助するサポーターについては、医師診断書が必要となり、試合前に救護へ提出しチェックを受けてください。

P13